

## 令和3年7月 下田市教育委員会定例会 会議録

令和3年7月20日（火）13時30分下田市教育委員会定例会を下田市立中央公民館2階中会議室に招集した。

出席委員は次のとおりである。

|       |     |
|-------|-----|
| 佐々木文夫 | 教育長 |
| 田中とし子 | 委員  |
| 渡邊 亮治 | 委員  |
| 西堀 政幸 | 委員  |
| 天野 美香 | 委員  |

委員以外に出席した者は次のとおりである。

|       |               |
|-------|---------------|
| 糸賀 浩  | 学校教育課長        |
| 平川 博巳 | 生涯学習課長        |
| 土屋 大祐 | 学校教育課 参事      |
| 土屋 仁  | 学校教育課 課長補佐    |
| 内田 陽久 | 学校教育課 子ども育成係長 |
| 原 隆史  | 学校教育課 学校教育係長  |
| 金守 俊彦 | 生涯学習課 社会教育係長  |
| 澤地 彩  | 生涯学習課 図書係長    |

本会議録調製者は次のとおりである。

|      |            |
|------|------------|
| 土屋 仁 | 学校教育課 課長補佐 |
|------|------------|

### 1 開会

13時30分教育長開会を宣す。

教育長 後ほどの事業報告でも報告するが、昨日19日に下田中学校新体育館の引き渡しを受け、今日20日午前中に終業式を行った。  
定例会終了後、現地視察をお願いしたい。

全委員 異議なし。

### 2 会議録署名人選出

会議録署名人に田中とし子委員を選出。

### 3 6月定例会会議録承認

事務局より資料に基づき説明、承認

### 4 教育長報告事項

7月事業報告及び8月事業計画について、学校教育課参事、生涯学習課長から資料に基づき説明。

学校教育係長 冒頭教育長から話があった下田中学校新体育館については、現在のコロナ禍の状況を考慮し、竣工式は行わず、来年4月に開催される開校式において、大規模改修、増築等を含め、整備工事全体の竣工式を行いたい。

また、夜間開放については、隣接する既存体育館改修工事、外構工事の影響を考慮し来年4月からとする予定である。

教育長 夜間開放について生涯学習課と調整はできているのか。

生涯学習課長 下田中学校体育館を使用している団体には、昨年度中に10月から年度末まで使用ができない旨連絡済みであるが、既存体育館の改修工事が前倒しとなり8月から始まることとなったため、他の学校の体育館を使用出来るように調整した。年度末まで使用できない旨は周知している。

教育長 それでは、新聞記事を参考に何点か簡単に報告する。

6月25日の聖火リレーについては、生涯学習課が事務局を務め、県や実行委員会と協議をしながら無事に終了した。

6月27日には“ハグハート下田を元気に応援ステージ”第2弾が市民文化会館で開催され、6～7団体が参加した。第1弾については、12日にまどが浜海遊公園でフラダンスを実施した。

オリンピック・パラリンピックの機運醸成を踏まえ、28日に白浜小学校、29日に朝日小学校、稲梓小学校において自転車競技でオリンピックに出場した飯島誠氏の講演会を行った。子どもたちは非常に興味を持ちながら参加していた。

6月28日には、新中学校への通学路の危険箇所について、市の関係課、下田警察署、下田土木事務所等と点検を行った。敷根1号線の点検を重点的に行き、今後とも継続して点検を行っていく。

6月30日には、統合準備委員会森本会長から新中学校の部活動についての第四次答申を受けた。後ほど議事の中で答申についての方針を協議していただく。

同日、中学校教職員を中心に統合準備委員会合同部会を開催した。

山田下田中学校長から新中学校の将来像、来年度の学校教育目標等の原案の提案があり、今後協議しながら学校教育目標、校訓等を作成する。

その他教科、生徒指導、保健等の各部会において、今後の方向性についての話し合いを持った。

7月1日には地域おこし協力隊の2人に市長から委嘱状を交付した。今後スポーツ振興に携わるとともに、下田市の活性化を図っていただく。

7月6日には鈴木まもる氏から、絵本「図書館の恐竜」を南伊豆町含め、各小学校、幼稚園、保育所、認定子ども園に寄贈いただいた。

7月8日には青少年健全育成連絡協議会を開催し年間計画を協議した。

また、中学校統合後の育成会の在り方について協議がなされ、育成会の進め方等を学校と調整しながら検討することとした。

次に7月10・11日の両日開催された賀茂地区中体連の結果の速報であるが、団体種目では、稲生沢中学校女子卓球部が優勝し、県大会に出場することとなった。

いくつか準優勝もあったが、子どもたちは非常に頑張って大会に臨んだ。

個人では、ソフトテニス男子で優勝と6位が稲生沢中学校のペア、卓球男子で下田中学校生徒が2位、卓球女子は稲生沢中学校生徒が優勝、また柔道で下田中学校生徒が2位となり、それぞれ県大会に出場することとなった。

7月13日には市町対抗駅伝の説明会及び決起大会を開催した。

渡邊監督は今年で就任3年目となり、2年連続で敢闘賞を受賞し、今年度も記録を伸ばし、上位を目指して頑張る旨の決意表明をしていただいた。

7月14日にはオリンピックサーフィン日本代表チームとホストタウンであるアメリカ代表チームに、中学生が中心となりメッセージを書き込んだ日米国旗を贈った。

日本チームには下田中学校の生徒会長、副会長が、下田出身の大野コーチと、市内在住の酒井日本サーフィン連盟理事長に手渡した。

アメリカ代表チームには、市長が合宿先の牧之原市を訪問し、直接手渡した。

7月19日には、白浜小学校の児童が募金活動を行い、熱海市の土石流災害に対して義援金を市長に手渡した。

また、7月16日付け読売新聞で新中学校のサーフィン部、その他、浜崎小学校の総合的な学習、下田幼稚園での防災講座について取り上げていただいたため、紹介する。

次に新型コロナウイルスのワクチン接種であるが、子どもたちに携わる教職員は、7月29日に市内、市外在住を問わず希望者に接種することとなり、138人の希望があった。2回目は8月19日となる。

12歳以上、15歳以下の子どものワクチン接種は、集団接種で8月7日に96人、個別接種では河合医院が8月8日、しらはまクリニックでは8月2日から8月11日まで、2か所の医療施設で240人の接種を実施する。

予約方法はWEB、市インターネット、電話での申し込みとなる。

対象は接種日以前に生まれた小学校6年生と中学生となる。

田中委員           子ども達のワクチン接種について、接種を受けない子どもはいるのか。

学校教育課長       市民保健課でアンケートを実施しており、結果として6割程度が接種を希望していると聞いている。

教育長           アンケート結果も市民保健課で保管しており、教育委員会では詳細は把握していないが、6割程度約300人が接種を希望しているとのことである。

あくまでもアンケート結果であり、接種券は対象者全員に送付するとのことである。

田中委員           県内の義務教育学校でクラスターが発生した事例はあるか。

教育長 沼津市の小学校でクラスターが発生したとの報道はあった。  
静岡県の発表方法に則って、当然学校名等の公表は無かった。感染拡大の恐れがある場合は公表することもあり得る。

田中委員 実際に中学生でも感染している子ども達もいるのではないかな。

教育長 公になってはいないが、無症状の子ども達もいる可能性は全くないわけではないと思われる。

田中委員 地域おこし協力隊の2人は具体的にどのような活動を行い、その勤務体系はどのようなものなのか。  
また、スポーツの指導等の活動も行っていくのか。

生涯学習課長 スポーツ振興に従事する業務として募集を行ったが、生涯学習課としては、2人の意向を尊重し活動してもらいたいと考えており、具体的なイメージとしては、地元のスポーツの普及に関しては、総合型スポーツクラブ等の立ち上げの検討や旅館、ホテル等の観光施設と連携し、スポーツ合宿の誘致等を提案している。

1人はトライアスリート、もう1人はライフセーバーで、体を動かすことが得意であり、それぞれの種目の指導も行っていきたい旨が応募の動機には入っていたため、今後指導者として活動することも考えられる。

現在は、市内でスポーツに携わっている方達と意見交換しながら、模索している状況で、オリンピックも手伝ってもらっている。

勤務については振興公社の敷根プールの事務所を拠点として、公社職員と協力し、敷根プールや敷根公園に合宿を誘致する等の業務を中心になって活動している状況である。

教育長 教育長報告事項は承認する。

## 5 議事

(1) 議第32号市議会の議決を経るべき議案の原案の決定について

(令和3年度下田市一般会計補正予算第5号 教育委員会)

教育長 議第32号市議会の議決を経るべき議案の原案の決定について、令和3年度下田市一般会計補正予算第5号 教育委員会 を議題とする。  
事務局の説明をお願いします。

生涯学習課長 議第32号市議会の議決を経るべき議案の原案の決定について、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第29条の規定により、令和3年度下田市一般会計補正予算第5号(教育委員会分)を別紙のとおり定めることについて、教育委員会の意見を求めるもの。

令和３年度下田市の一般会計補正予算（第５号）は、次に定めるところによるもので、第１条として歳入歳出それぞれ 73,582 千円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ 11,536,100 千円とする。

教育委員会部分の予算について、事項別明細書で説明する。

歳出について 9 款 5 項 6 目図書館費は 770 千円の増額で、6600 図書館管理運営事業 750 千円の増額は、17 節備品購入費、図書購入費（感染症対策分）で、利用者の自宅での読書時間充実のため、高齢者・障害者向けの大活字本、オーディオブックを購入する。

6602 図書館 OA 化推進事業は 20 千円の増額で、購入した図書への図書マーク作成業務委託料である。

9 款 6 項 1 目保健体育費は 400 千円の増額で、6701 社会体育活動推進事業、下田河津間駅伝競走大会実行委員会補助金 400 千円は感染症対策分として、選手のバス送迎に係る費用とマスク、消毒液等の消耗品を河津町と折半で負担する。

9 款 6 項 3 目下田市民スポーツセンター管理運営費は、6752 下田市民スポーツセンター管理運営事業 2,160 千円の増額で、14 節工事請負費 1,700 千円は、第 1 会議室の空調改修工事、17 節備品購入費 460 千円は、体育館における感染症対策として、気化式冷風機 2 台を購入する。

9 款 8 項 1 目 下田市民文化会館費 6900 下田市民文化会館管理運営事業は、31,000 千円の増額で、14 節 工事請負費で、小ホールの空調機改修工事 28,200 千円、小会議室 2・3 の空調機改修工事 2,800 千円を施工する。

市民スポーツセンター、市民文化会館両施設とも空調機の機能が十分でないことから、感染症対策としての換気、適正な室温管理確保のための改修工事を施工する。

今回の教育費補正額 34,330 千円に対しては、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 20,800 千円を特定財源として充当した。

全委員 異議なし。

教育長 議第 32 号市議会の議決を経るべき議案の原案の決定について（令和 3 年度下田市一般会計補正予算第 5 号 教育委員会）は、原案のとおり承認することで決定した。

（２）議第 33 号 下田市子ども読書活動推進計画策定委員会委員の委嘱について

教育長 議第 33 号下田市子ども読書活動推進計画策定委員会委員の委嘱についてを議題とする。事務局の説明をお願いします。

生涯学習課長 議第 33 号下田市子ども読書活動推進計画策定委員会委員の委嘱について、同委員会設置規則第 3 条の規定により、別紙の者を下田市子ども読書活動推進計画策定委員会委員に委嘱することについて、教育委員会の承認を求めるもの。

提案理由は、下田市子ども読書活動推進計画を策定するためである。

委員の選定については、5 月定例会で説明したとおり、学校等の組織からの推薦

者と一般公募によるもので、一般公募については4人の応募があり、委員選考要領に基づき、選考会議を開催し2人を選考した。

委員会は今年度3回程度の開催を予定しており、1回目は9月に開催する。

委員会設置規則第3条において、委員は15人以内と規定されているが、11人の委員の承認を求めるもの。

全委員 異議なし。

教育長 議第33号下田市子ども読書活動推進計画策定委員会委員の委嘱については、原案のとおり承認することで決定した。

(3) 議第34号 下田市立統合準備委員会第四次答申に伴う方針決定について

教育長 議第34号下田市立学校統合準備委員会第四次答申に伴う方針決定についてを議題とする。事務局の説明をお願いする。

学校教育課長 議第34号下田市立学校統合準備委員会第四次答申に伴う方針決定について、教育委員会の意見を求めるもので、6月30日に下田市立学校統合準備委員会森本幸平会長から新中学校に設置する部活動について答申を受けた。

新中学校に設置する部活動については次のとおりで、今後、生徒数の減少が見込まれることから設置する部活動について、随時見直しをすることとされた。

運動部は、男女バレーボール部、男女バスケットボール部、男女ソフトテニス部、男女卓球部、サッカー部、軟式野球部、サーフィン部、文化部は、吹奏楽部、美術部、総合文化部とし、地域人材、地域団体等が運営主体となって活動する学校部活動に準ずる活動である地域部活動として、短・中・長距離陸上競技に限定した競争部を設置する。

その他として「学校の働き方改革を踏まえた部活動改革（令和2年9月文部科学省）」において、持続可能な部活動と教師の負担軽減の両方を実現できる改革として示された具体的な方策である休日の部活動の段階的な地域移行や合理的で効率的な部活動の推進について、検討することとされた。

資料として、学校の働き方改革を踏まえた部活動改革の概要を添付した。

具体的な方策として、休日の部活動の段階的な地域移行については、令和5年度以降段階的に実施することとされており、休日の指導や大会への引率を担う地域人材の確保等、また合理的で効率的な部活動の推進では、地方大会の在り方の整理等を今後検討して行くこととしている。

事務局としては、統合準備委員会から受けた第四次答申に対して教育委員会として方針を決定していただきたい。

渡邊委員 サッカー部、軟式野球部、サーフィン部には女子も入部可能なのか。

学校教育課長 女子も入部可能である。

教育長 大会の出場も認められている。

田中委員 学校の働き方改革を踏まえた部活動改革の概要の改革の方向性として、「部活動は必ずしも教師が担う必要のない業務であることを踏まえ、休日に教師が部活動の指導に携わる必要がない環境を整えること、また、休日に指導を行うことができる仕組みを構築する。」とあるが、今までも子どもの指導に熱心な先生方が多く、休日の部活動は行わないと言いながらも、色々な工夫をして休日に行ったという例もある。

先生方は多忙の中色々な仕事を行っており、今後新中学校でもこのような改革の方向性で進んでいくと思われるが、是非体制を整えていただきたい。

教育長 改革の方向性には、「部活動の指導を希望する教師は、引き続き休日に指導を行うことができる仕組みを構築する。」とあるように、教師本人の意思を尊重し、今後、主体が地域となった場合に指導を継続したいという教師は、兼業届を提出し、地域型部活動の中に入って指導を行っていくことになると思われる。

文部科学省も問題点、課題を把握するため、各都道府県にモデル校を設置し、実践研究を行っている。

令和5年度から段階的に実施とあるが、環境が整ったところから進めて行くこととなるであろう。

新中学校での陸上部のように地域の方に指導をお願いした上で、先生方がその中に組み入れられるものと思われる。

地域で指導をしていただける組織や人材の確保がどの程度可能なのか、課題は多いと思われる。

現状では不明な点が多いが、国の流れとしてはこのような方向で改革を行っていくということである。

全委員 異議なし。

教育長 それでは、議第34号下田市立学校統合準備委員会第四次答申に伴う方針決定については原案のとおり承認することと決定した。

(4) 議第35号 要保護及び準要保護児童生徒の認定について

教育長 この件については特定の個人に対する情報が含まれている案件のため、非公開での審議をお願いしたい。

全委員 異議なし。

教育長 議第35号要保護及び準要保護児童生徒の認定について、は非公開で審議を行うこととする。

～非公開審議～

教育長                    議第 35 号要保護及び準要保護児童生徒の認定については原案のとおり承認することを決定した。

＜非公開での審議＞

認定 1 件

## 6 協議報告事項

学校教育係長            資料として、新中学校制服に取り付けるワッペンのイメージ図を添付した。

静岡大学教育学部の伊藤教授の研究室にデザインをお願いし、市内の美術、図工担当の校長、教諭により原案 8 パターンのうちから 4 パターンを選考した。

今後 4 パターンの中から 1 点に決定するが、制服納入業者に見本を作製してもらい、実際に現物を見た上で決定したい。

## 7 その他

教育委員会 8 月定例会を 8 月 25 日（水）13 時 30 分から下田市立中央公民館大会議室で開催。

## 8 閉会

7 月定例会    7 月 20 日（火）13 時 30 分開会。

教育長    14 時 47 分に閉会を宣す。

会議録署名人